11. 印旛沼周辺域（いんばぬましゅうへんいき）

この地域は、成田市の南西部に位置する印旛沼に隣接しています。ほとんどが水田として利用されており、水路の多くが開放水路であることが特徴となっています。大きな樹林地はほとんどありません。印旛沼沿いの水辺にはヨシやオギなどの背の高いイネ科の植物が群落を形成しており、水田周辺にはオモダカやコナギからなる水田雑草群落が見られます。

開放的な水辺を好む生き物が多く見られます。水辺ではトンボやチョウの仲間など、水田周辺では、ヨシに止まって鳴いているニホンアマガエルや水路で鳴いている特定外来生物のウシガエルが多く見られます。また、畦（あぜ）ではニホンカナヘビやモグラ塚も多く見られます。鳥類は、水田で餌を採ったり、休息したりするサギやシギの仲間が多く見られるほか、スズメやムクドリも群れで見られます。また、水路を泳ぐカモの仲間が見られます。

八代地区の水田と水路

下総松崎駅舎
（トイレ、駐車場あり）

レンガの外装が目立つ
跨道橋（こどうきょう）

見晴らしの良い北須賀地区・勝福寺近郊

トンボが多い浅間池
（浅間神社の近く）

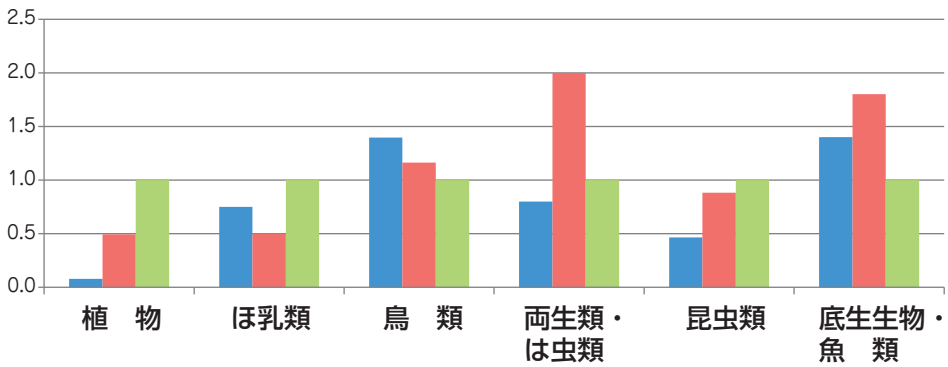
八代地区・弁財天神社近
くの溜池（ためいけ）

外小代公園（そとこだい）
（トイレ、駐車場あり）

凡　例
- 自然観察ルート
- 写真撮影ポイント

この地図は、国土地理院の電子地図25000『成田』を使用したものである。

確認種の推移



第１次調査
第２次調査
第３次調査

第３次調査時の確認種数を1.0とする。

第１次調査：平成５・６年度に水辺調査、平成７・８年度に陸域調査

第２次調査：平成14年度に水辺調査、平成15年度に陸域調査

第３次調査：平成26・27年度に動植物生息調査